

平成 22 年 4 月 28 日
商 工 中 金

環境に配慮した経営を行っている企業を金融面からサポート！

医療法人社団映寿会に 2,600 万円を融資

商工中金（金沢支店）は、4月28日、医療法人社団映寿会（本社：石川県金沢市、理事長：北元喜洋氏）に対して、エネルギー消費量と環境負荷の低減への取り組みに必要な設備資金 2,600 万円を融資しました。

医療法人社団映寿会の運営する介護老人保健施設「みらいのさと太陽」の空調および給湯設備を、重油ボイラーから省エネタイプの電気式・排熱回収型高効率ヒートポンプシステムに置き換えることで、年間 40%の二酸化炭素の排出量削減に取り組めます。

本件は、政府の緊急経済対策において創設された「危機対応業務 利子補給制度（※1）」を利用するとともに、環境省の「チャレンジ 25 地域づくり事業（補助事業）（※2）」に北陸地方で唯一指定されています。

医療法人社団映寿会は、金沢市で療養型の病院（150 床）と介護老人保健施設を運営しています。医療法人社団映寿会は以前から環境に配慮した経営に積極的に取り組んでおり、平成 20 年には映寿会みらい病院にヒートポンプを導入し、当該施設の二酸化炭素排出量を年間 37%削減しております。

商工中金は、厳しい経済環境のなか設備投資に取り組む企業の金利負担軽減に積極的に取り組むことで、中小企業金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

◆医療法人社団映寿会の概要

所在地	石川県金沢市鞍月東 1 丁目	資本金	1 億 5000 万円
理事長	北元 喜洋	従業員数	260 人
業 種	病院、介護老人保健施設		

（※1）危機対応業務 利子補給制度

デフレの進行に伴い、実質的な金利上昇のもとで抑制されている設備投資等を下支えするため、新たな設備投資等を行う中小・中堅企業に対し、商工中金が日本政策金融公庫から 2 年間 0.5%の利子補給措置を受けることを前提に特別利率での貸付を行う制度。

（※2）チャレンジ 25 地域づくり事業

2020 年までに 1990 年比で二酸化炭素排出量を 25%削減するために効果的な事業を、環境省が公募により、支援するもの。